



八幡 なるさん(56) 成と里 ひさ子さん(57)
=胆沢区南都田字濁川=

雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

10月に胆沢区で行われた希望郷いわて国体力ヌー競技。夫婦で競技審判員を務めたのが八幡さんです。力ヌーに接するようになったのは国体が契機。「46年前の国体では父がソフトボールの審判員を務めた。その姿に憧れがあった」と語る里子さん。自分も国体に協力したいと考えていたとき、広報で力ヌー競技審判員募集の記事を目にします。同時に、成久

さんも水沢力ヌークラブに所属する知人から、審判員養成の話を目にしました。「妻から話を聞いたとき、力ヌーなら知り合いがいていいなと思った」と振り返ります。国体期間中は二人ともスラム競技のゲート審判員やさまざまな仕事をこなし、大会運営に尽力。成久さんは「力ヌーの大会は山奥での開催が多く観客は多くない。今回は渋滞ができるほど観客が来て驚いた」と大会の成功を実感していました。国体後も、ことし3月に発足した奥州力ヌー愛好会の一員として、力ヌーに関わっていききたいという二人。胆沢川特設力ヌー競技場を通じ、力ヌー競技をまちぐるみで盛り上げるのが目標です。自分たちの夢は競技コースで漕ぐこと。「審判員から始めたので経験が少ない。いつかは胆沢コース開催の大会に出てみたい」と願う二人でした。

朝夕冷え込む季節になりましたが、いかがお過ごしですか。第16回全国障害者スポーツ大会は先月22日から3日間、県内6市町で開催され、全国から集まった選手により素晴らしい熱戦が繰り広げられました。本市では卓球競技とオープン競技のサウンドテールブルテニスが開催されました。初日には皇太子さまが卓球競技のご観戦に本市を訪れ、多くの市民が沿道から小旗を振り歓迎しました。卓球競技では4つの金メダルを獲得し県勢の活躍が光りました。この大会を機に障がい者スポーツの発展と社会参加の促進に向け努力してまいります。来年5月に初開催する「いわて奥州きらめきマラソン」の参加申し込みが今月21日から開始されます。このマラソン大会は県内2カ所目のフル



マラソン大会で、高低差が少なく市街地から北上川沿いを回り、本市を丸ごと体感いただけます。フルマラソンのほかに10キロ、3キロの部もありますので、皆さんふるってお申し込みください。先月、都内で開催された「おうしゅう首都圏産業交流会」に出席しました。首都圏や東北主要都市からのアクセスが良好で「東北の流通のへそ」と呼ばれ魅力あふれる本市を、参加いただいた57企業90人に紹介し、本市への企業立地をPRしてまいりました。今後このような交流会を積極的に開催し企業誘致に結びつけてまいります。山形県鶴岡市で開催された「みちのくダム湖サミットin月山」にパネリストとして参加し、ダムを資源として捉えた地域づくりについて意見交換をいたしました。今後、観光資源として魅力たっぷり胆沢ダムを、日本でも有数の力ヌー競技場や周辺温泉施設などとリンクさせ、交流人口増加につなげてまいります。

奥州市長 小沢昌記



佐藤 莉奈さん (江刺区・梁川小学校6年)

Interview

夢トーク

将来の夢は「りんご園で働きたい」

—学校の役割は？
本が好きで、図書委員会の委員長をしています。週2回図書当番をしているほか、11月の読書まつりの準備をしています。
—小学校生活の思い出は？
タグラグビーの大会に出場したことです。パスを受け、夢中で走りました。トライを決めることができ、うれしかったです。
—好きな動物は？
猫です。11歳になる猫を飼っています。かわいくてじゃれたりして遊びますが、年を取っているの疲れさせないよ

う気を付けています。
—中学校へ進学したら、やってみたいことはありますか？
バドミントン部に入りたいです。今も友達とプレーしています。梁川小学校を卒業した先輩と一緒にできたら楽しいだろうと思います。
—将来の夢を教えてください。
りんご園で働きたいです。家の近所にりんご園があり、母と祖母が働いています。4年生のころ、がんばって働く母の姿を見て心を動かされました。私も手伝いをしたいです。



青春讃歌

ジュニア
江刺東 Jr
(スポーツ少年団・野球)

- ◎団員数 24人
- ◎指導者 及川 敬幸 監督
伊藤 浩紀 コーチ
昆野 正和 コーチ
- ◎主将 菅野 獅那くん(小6)

人間形成の場 野球も普段の生活も一生懸命

明かりに照らされた広瀬総合グラウンドで、白球を追う子どもたち。水曜日は週に一度のナイター練習の日です。少し肌寒くなった秋の夜、子どもたちは入念な準備運動を欠かしません。



バントによる攻撃がチームの特徴

梁川、広瀬、玉里の3地区のチームが合併し、平成20年に誕生した江刺東 Jr。27年に米里も加わり、現在は5つの小学校の24人が所属しています。主将の菅野獅那くん(広瀬小6年)は自分たちを「ペースをつかむとどんどん点が入るチーム」だと評します。指導する及川敬幸監督は「野球だけを一生懸命練習しても野球はうまくならない」がモットー。父母会の協力を得て、レクリエーションや普段の生活の充実にも取り組んでいます。残念ながらことしは負けが多かったというチーム。菅野くんは「守備を頑張って、僕たちより勝ってほしい」と後輩に期待を寄せます。及川監督も「努力や失敗の体験を大切に。失敗は成功の母である」と選手たちを励まします。最後に菅野くんは「遠くの試合でも送り迎えしてくれてありがとう」と支えてくれる家族に、チームを代表して感謝を述べました。

習しても野球はうまくならない」がモットー。父母会の協力を得て、レクリエーションや普段の生活の充実にも取り組んでいます。



野球以外の楽しみも充実

残念ながらことしは負けが多かったというチーム。菅野くんは「守備を頑張って、僕たちより勝ってほしい」と後輩に期待を寄せます。及川監督も「努力や失敗の体験を大切に。失敗は成功の母である」と選手たちを励まします。最後に菅野くんは「遠くの試合でも送り迎えしてくれてありがとう」と支えてくれる家族に、チームを代表して感謝を述べました。

青春賛歌掲載団体募集! ▼生徒・児童が参加する団体が対象です。詳しくは、本庁政策企画課広聴広報係(内線4118、✉kounhou@city.oshu.iwate.jp)までお問い合わせください